

# Bibliophiles

## ビブリアファイルズ No.5(2018年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



### 『BEASTARS』

板垣巴留

今年度の「マンガ大賞」を受賞した作品がこれです。タイトルの由来は beast (獣) の stars (スターたち) でしょうか? その名の通り、動物たちが登場人物で、主人公はハイイロオオカミの少年・レゴシです。(しかしキャラは意外にも寡黙で繊細。) 舞台は全寮制、中高一貫のエリート学校「チェリートン学園」。ある日、草食獣のアルパカが何者かに殺害されるという事件が起きます。警察の見解では、学内の肉食獣が怪しいとのことで、生徒である肉食獣と草食獣の間に険悪なムードが立ち込めますが・・・

### 『GTEC CBT 公式問題集』

ベネッセコーポレーションが行っている英語検定の一つで、「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語4技能をバランス良く試す GTEC CBT。近隣の大学でも、このテストが参考とされたり、一定以上の点数を取ることが出願の条件となっている入試が多数あります。本図書館では、「英検」の問題集と同じく、本の閲覧も CD を聴くのも館内のみ可能としました。空き時間や放課後などに、ぜひ図書館にてチャレンジしてみてください。

### 『生きづらいと思ったら 親子で発達障害でした』

モンズー

生まれてきた長男は、1歳4か月になっても話せる単語は「ワンワン(犬)」のみ。だっこをすればエビ反りをして嫌がるし、偏食がひどく、話をしても目を合わさない・・・しかし、母親である作者はやがて自分自身が発達障害者(ADHD)であることに気づき、「この子が苦しんでいるのは私のせいだ・・・」との思いにとらわれます。発達障害の親が同じくグレーゾーンの子ども二人を育てるという実体験を、マンガで分かりやすく、かつ赤裸々に描いた話題作です。

### 『魔力の胎動』

東野圭吾

東野氏の作品は抜群の人氣があり、この作品も西宮市立図書館では予約が立て込んでいます。6/12 現在、14冊の蔵書は全て貸出し中で、予約している人は何と419人もいます。みなさん、東野圭吾の本は迷わず東高校図書館で借りましょう! さてこの本は先ごろ映画化されました『ラプラスの魔女』の「前日譚」とも言うべき内容を含んでいますので、特に『ラプラス』が気に入った方にオススメです。

### 『絶滅の人類史

なぜ「私たち」が生き延びたのか』

更科功 仮に「直立二足歩行できるのが人類」だと定義すると、今の地球には人類は私たちホモ・サピエンスしかいません。しかしここ700万年の地球の歴史にはホモ・サピエンス以外の多くの人類がいましたし、とりわけネアンデルタール人はホモ・サピエンス並みの脳を持ち、肉体的にはむしろホモ・サピエンスよりも屈強な体格をしていたのです。ではなぜ、私たち以外の人類は滅んでしまったのでしょうか? 最新の学説を分かりやすい解説でどうぞ。

### 『スポーツクライミング教本』

東秀樹 著 江崎善晴 イラスト

2020年の東京オリンピックから正式種目となったスポーツクライミング。急傾斜の岩場などを登ったりするスポーツですね。この競技の課題コースを作る人をルートセッターと言いますが、筆者は国際公認ルートセッターで、また国内のほとんどの大型クライミング施設の設計を手掛けているエンジニアでもあります。そんな筆者がクライミング技術を伝授してくれるのがこの本ですが、オールカラーの図解が非常に充実しており、体の動かし方が一目瞭然なので、とても分かりやすいのが本書の強みです。「あとがき」によれば、イラストを担当した江崎氏は自身がクライマーなのだそうで、この分かりやすさはやっぱり経験のなせる技なのだ、と納得。お試し下さい。



### 『10年後の仕事図鑑』

堀江貴史 & 落合陽一

筆者たちによれば、AI やスマホの進化などで、例えば公務員の仕事はほとんど必要なくなり、逆に今はおもちゃのように思われているドローンを活かした仕事が近い将来伸びる、とされています。この本を読んで、10年先に日本がどのような社会になっているか、各自が考えてみて下さい。

### 『なるには books』シリーズ、10冊あらたに購入しました!

「義肢装具士(ぎしそうぐし)」っていう仕事、知っていますか? 「義肢」とは人工の手足のことで、これはさまざまな理由で手足を失った方のために義肢を作る仕事です。進路選択の手引書として愛読されている『なるには books』シリーズですが、今回は「獣医師になるには」といった比較的知られている職業から、「カフェオーナー・カフェスタッフ・パリストになるには」などの新奇的な職業まで盛り沢山です。

### 今号のひとこと

J'ai pleuré une fois quand j'étais petit parce que je n'avais pas de chaussure pour jouer au foot, mais un jour j'ai vu un homme qui n'avait pas de pied et j'ai réalisé à quel point j'étais riche! 子どもの頃、サッカーをするための靴が買えなくて泣いたことがある。しかしある日、足がない人を見て、自分がいかに恵まれていたかが分かった。

ジネディーヌ・ジダン(1972-)

フランスを代表する元サッカー選手で、スペインのレアル・マドリードで監督としても大きな業績を上げたジダン。旧フランス領・アルジェリアからの移民の子なので、経済的には苦勞したそうですが、今では「北アフリカからの移民の星」のような存在になっています。